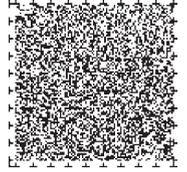


研究所オープンハウスを開催します

研究所



当研究所では、医学、工学、社会科学、心理学と広範囲の分野の研究者が障害のある方の医療・福祉の向上と自立支援を目指し、研究を行っています。研究所における研究内容と成果を多くの方に知っていただくために、オープンハウス（研究所一般公開）を開催いたします。ぜひこの機会に障害者支援を目指した最先端の研

究に接してみてください。当日は、当研究所で開発された福祉機器の紹介や各部門の研究内容を紹介するパネル展示をご覧いただきながら、皆様と意見交換を行えることを楽しみにしております。（今年度はリハ並木祭（文化祭）と同時開催となります。）

- ◆日時 平成24年10月27日（土曜日）（9時～16時）
- ◆ところ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所
- ◆内容 研究所の各部門が進めている研究について、パネル展示や開発・活用機器の紹介
- ◆参加費 無料
- ◆詳しくは<http://www.rehab.go.jp/ri/event/2012openhouse.html>をご参照ください。

展示内容（予定）

「活動と社会参加を支える技術」の開発

日常生活、就労

- 認知障害者の日常生活/就労支援機器の開発
- 模擬筋電義手の体験
- 上肢に障害がある人を支援するロボットアーム
- ロボティックベッドの臨床評価
- 脳波を用いた生活環境制御

安全、健康

- 義肢装具/座位保持装置[®]の試験評価
（※座位のとれない人が用いる（車いす））
- 車いす搭載形うつ熟予防システム
- 車いすのキャスターアップ時の強度
- 安全技術を搭載した電動車いすの臨床評価
- 車いすライフログ
- 排泄問題ワークショップ 2011
- ギャッチアップ時の不快感を抑える低摩擦シート
- 障害者支援機器&評価機器用
- 生体インターフェースの研究開発

サービス、制度、政策

- 宿泊型盲ろう者生活訓練等モデル事業に伴走する研究
- 就労移行期における障害者支援のあり方に関する研究
- 義肢/装具/座位保持装置を作る費用はなし

社会

- 障害を持つ人が着たい服を手に入れやすい
- 衣服環境への取り組み
- ハンセン病問題の社会的実証研究
- 障害者の自立支援促進に関する総合的な研究

移動、歩行

- 電動車いすシミュレータ
- 過去、現在、未来の義肢を展示紹介します
- 義肢に関する研究の紹介
- ① 下肢切断における最近の傾向
- ② 運動における義肢の有効性
- ③ 陰圧粒子バッグ式評価訓練用義足の開発

情報共有

- 高次脳機能障害への理解を深めるために
- 認知症のある人の福祉機器展示館
- 発達障害に関する情報をホームページで発信
- 障害者ライフモデルルーム

今年度の展示一覧（予定）

運動機能、細胞機能

- 立位姿勢と歩行の制御機序の解明
- 脊髄損傷後の歩行リハビリテーション
- 脊髄損傷後の再生医療
- 褥瘡[®]の予防
（※じょくそう：床ずれ）

感覚機能、脳機能

- 吃音が起る仕組みと治療への取り組み
- 網膜の変性と再生に関する研究
- 聴神経由来の難聴の病態解明とリハビリテーション
- 発達障害の評価/診断手法の研究

「生活を支える社会環境整備」の提案

「心身機能の解明による回復・向上」の研究

